

令和3年度第4回理事会議事録

1. 日 時：令和3年12月11日（土）14:00～15:30
2. 場 所：青森県観光物産館アスパム（8階しらかみ）
青森市安方一丁目1-40 Tel:017-735-5311
3. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、奥沢悦子、木村正彦、野坂知加、吉田泰憲、逆井久美子、小山内誠、川口裕美、高松みどり、細川和子、番場隆彦、米沼順子、神山哲哉、河村義雄、吉岡治彦、三上英子、太田孝雄
4. 欠席者：吉岡拓朗、本田昌樹

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、会場・オンラインのハイブリット開催で行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

石山学術部長より精度管理と研修会について以下の報告があった。

精度管理は無事終了し、回答速報も順次報告されている。今年度は電話による質問等の問い合わせが非常に多かったため、来年度以降はホームページにQ&Aコーナーを作るなど対応を考えていきたい。研修会に関しては、北日本生化学部門研修会が終了。各部門WEB研修を実施・計画している。

2. 公益部経過報告

奥沢公益部長に代わり齋藤会長より以下の報告があった。

高校心電図健診について

10月2日ですべて終了となった。派遣できる技師が高齢化等で少なくなってきているため、これから退職となる方に協力をお願いしてほしい。支部内で対応できない場合は近隣支部から応援での対応をお願いしたい。

野球肘健診

以下の日程で小中学生野球選手を対象に実施された。

むつ市：11月14日（日）：検査技師5名

弘前市：11月27日（土）：検査技師3名

11月28日（日）：検査技師3名

青森市：12月4日（土）：検査技師4名

12月5日（日）：検査技師0名（要請なし）

離断性骨軟骨炎（OCD）疑い：むつ0名、弘前5名、青森3名（約1.5%）

十和田地区からも問い合わせがあり、年度内に行う可能性あり。

今後参加技師を増やしていきたい。

3. 渉外部経過報告

木村渉外部長より「災害対策支援規定」について以下の報告があった。

日臨技で災害対策支援を速やかに行うため、各都道府県と協定を結び、支援と受援を行うためのマニュアルを作成することとなった。日臨技よりマニュアルの雛形が来ているためそれを基に青臨技の雛形を作成していくこととなる。具体的には災害対策本部を立ち上げる際の基準、連絡網や手順を決めなくてはならない。まず協定を結び、マニュアルを作成していくという流れになる。

4. 事務局経過報告

野坂事務局長より以下の報告があった。

永年会員の募集を12月10日期限で募集し、3名の応募あり。永年会員の中でも日臨技を継続する方に関しては会費免除の手続きをとらなくてはならない。賛助会員は11月30日期限で募集し、38社より申込あり。求人は4月1日～12月8日までで10件、ホームページにアップした後、詳細はサイボウズのファイル管理に保存している。齋藤会長より各種書類等をサイボウズ内のファイル管理内に保存しているので、どこに何があるかわかりやすく事務局で整理してほしいと要望があった。

5. 齋藤会長より報告

日臨技理事会報告

①新型コロナウイルスに関わるワクチン接種の実技研修開催状況

実技研修実施が16県、うち7県が打ち手として参加。

実技研修受講者 : 1648名（青森県60名）

ワクチン接種件数 : 111,684件（青森県0名）

協力臨床検査技師数 : 433名（青森県0名）

②令和4年度診療報酬改定に係る要望書について

外来診療科の包括要件の見直し、関節鏡結晶鏡検同定の新設、末梢血液像/骨髓像特殊染色加算の増点など多数要望を提出

③国へ提出した令和4年度予算・税制等に関する要望書/一般政策要求

新興感染症に対する体制整備の要望

- ・保健所等行政機関への臨床検査技師配置強化の要望
- ・SARS-CoV-2 外部精度管理調査への財政支援
- ・臨床検査技師の実人員把握のための関係法令の一部改正

タスク・シフト/シェアを推進するための要望

国民の健康を測る検体検査の品質・精度確保のための要望

- ・精度管理の義務化

- ・高度な知識・技術を必要とする検体検査の品質の確保のための人的要件新設の要望

不妊治療の保険適用へ向けての体制整備の要望

④日臨技表彰規定改定

- ・永年職務精励賞の表彰要件

- ・支部学術奨励賞、日臨技特別功労賞、日臨技学術奨励賞の推薦者、推薦手続き

- ・日臨技貢献賞（個人、法人）を新設

- ・その他、実務手続きの明確化

⑤日臨技「災害対策支援規程」等および当該規定に基づく都道府県技師会との協定締結について

詳細は木村渉外部長から報告

⑥日臨技無料職業紹介所の廃止

インターネット等の普及により無料職業紹介所を通じて就職が決まる人が例年 10 人未満と少なく、場所・人材の確保が難しいため無料職業紹介所を廃止し、求人情報として継続することとなった。

【議題】

1. 講師料について

齋藤会長より講師料についての再確認と提案があった。

現在の講師料・・・県外技師：1 時間以上 20,000 円、1 時間未満 10,000 円

県内技師：1 時間以上 10,000 円、30～59 分 5,000 円

30 分未満 2,500 円

ハンズオン講師 3,000 円

となっている。現状は講演時間で講師料を算出していたが、質疑応答含めたプログラムの時間で講師料を算出してはどうかという提案があった。木村渉外部長より 30 分未満の金額を 30～59 分と同様にしたらどうかと提案があった。野坂理事よりハンズオン講師はハンズオンモデルのことで、表記が分かりにくいいためきちんと明記したらどうかとの提案があった。審議した結果講師料などは以下 1)～3) の通り、出席者全員が異議なく承認された。

1) 講師料は質疑応答含めたプログラムの時間で算出する

2) ハンズオン講師はハンズオンの講習時間で算出する

- 3) 講師料・・・県外技師：1時間以上 20,000円、1時間未満 10,000円
県内技師：1時間以上 10,000円、1時間未満 5,000円
ハンズオン患者役 3,000円

2. 青臨技学会進捗

総会と学会を同日の1日で開催する。ホテルサンルートで実施し、情報交換会は実施しない。ハイブリット開催とし、WEB関係はインフォメディアリにお願いしている。演題募集の案内は1月に、抄録・演題登録は3月末までとすることとなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

3. 会誌

会員名簿は載せず、施設名・住所・電話番号のみ記載。現在論文は12編提出され、査読中。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

4. 70周年について

齋藤会長より、令和4年度で青臨技が70周年となる。どのような形で70周年記念を実施するか検討したいとの提案があった。60周年と同様に青臨技会誌を記念号として発行することとなった。野坂理事より、通常の会誌と記念号となると負担が大きくなるため記念誌は別のチームで行ったらどうかとの提案があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

5. 精度管理講習会

開催日、会場について審議し、3月12日に八戸市ユートリーでハイブリット開催の提案があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

6. 災害対策マニュアル

齋藤会長より、日臨技と協定を結ぶことについて提案があった。

日臨技災害対策マニュアルに準拠した災害対策マニュアルを令和4年度各県で作成することとなったことから青臨技災害マニュアルを更新する。マニュアル・協定書を木村渉外部長、小山内理事、各支部長で協議し作成することとなった。またビブスや緊急車

両ステッカー等の備品について確認し、適所に配置することとなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

【その他】

1. 日臨技施設調査と会員意識調査

齋藤会長より、日臨技施設調査と会員意識調査が行われているが、前回の回答率が25%程度と低かったので、各施設で回答を働きかけてほしい。

2. 日臨技会長選挙について

齋藤会長より、日臨技会長選書の投票を忘れないよう各施設でも呼びかけてほしい。

3. 臨床検査技師 100 人会議

石山学術部長より 12 月 26 日（日）に第 0 回として臨床検査技師 100 人会議が開催される。第 1 回は 1 月を予定していてそのキックオフの位置づけで実施される予定。学生は無料、技師は 1 回 500 円となる予定。詳細が分かり次第改めてサイボウズで回覧します。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

幹事

印

印